

〔論文〕

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (7)

樋口 勇夫

名古屋学院大学国際文化学部

要 旨

幾つかのJ-POP広東語カバー曲では、オリジナル曲の楽音の高さを、ある特定の音符だけ個別に変えてあり、それはその音符に対応する歌詞の漢字の声調と関係がありそうである。

拙稿「(1)～(5)」(2010～2014)にて、1984年から2010年のJ-POP広東語カバー曲、計50曲を例にその様相を探り、拙稿「まとめ(その1)・(その2)」(2015a・2015b)にて50曲のまとめを行なった。更に、拙稿「(6)」(2016)にて、オリジナル曲の楽音の高さを、広東語カバー曲では下降する2楽音に変えてあり、且つ、その歌詞の漢字声調が「第1声(陰平)」の場合について、同一歌手が歌っている共通語カバー曲と比較することにより、広東語カバー曲特有の様相を探った。

本稿では、1984年から2010年までのJ-POP広東語カバー曲10曲を例に、引き続きその様相を探る。

キーワード：声調、楽音、広東語、カバー曲、J-POP

The influence of Chinese character tones on the musical sounds in some Cantonese versions of Japanese pop songs (7)

Isao HIGUCHI

Faculty of Intercultural Studies
Nagoya Gakuin University

発行日 2018年10月31日

0. はじめに

本稿では、拙稿「(1)～(5)」(2010～2014)に引き続き、それらとは別のJ-POP広東語カバー曲10曲を対象に、調査を行なった。

0.1 広東語の声調

広東語の声調は表1の通り¹⁾。

表1

				-p, -t, -k韻尾	
調類	陰平	陰上	陰去	上陰入	下陰入
千島式ローマ字声調No.	第1声	第2声	第3声	第1声	第3声
調値	□55(～□53) ²⁾	☐35	☐33	□5	☐33
調値の型	高平(～高降) ²⁾	高昇	中平	高平	中平
調類	陽平	陽上	陽去	陽入	
千島式ローマ字声調No.	第4声	第5声	第6声	第6声	
調値	☐21	☐23	☐22	☐2 / ☐22	
調値の型	低降	低昇	低平	低平	

0.2 拙稿「(6)」(2016) までにおける調査結果

拙稿「(1)～(5)」(2010～2014)にて、1984年から2010年までのJ-POP広東語カバー曲、計50曲³⁾を調査し、拙稿「まとめ(その1)・(その2)」(2015a・2015b)にて50曲のまとめを行ない、以下のことがわかった。

更に、拙稿「(6)」(2016)にて、オリジナル曲の楽音の高さを、広東語カバー曲では下降する2楽音に変えてあり、且つ、その歌詞の漢字声調が「第1声(陰平)」の場合について、同一歌手が歌っている共通語カバー曲と比較することにより、以下の「2.2」のうち、「第1声(陰平)」の例については、「1.2」の例に修正した。

広東語カバー曲で楽音の高さを変えてある場合は、次の幾つかのタイプに分類できる。

1. 当該音節の声調と関係がある。

1.1 音節末調値がオリジナルの楽音の高さに合わない。

1.1.1 その1音節の高さを変える。

1.1.2 前後数音をまとめて高さを変える。

1.1.3 前後数音をまとめて、高さだけでなく、リズムまで変える。

1.1.3.1 同じ曲の別の部分を転用する。

1.1.3.2 比較的大胆に新たなリズムを創作する。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (7)

- 1.2 「第1声 (陰平)」の高降調の方の調値「□53」に合うように、下降する2楽音に変える。
- 1.3 「第2声 (陰上)」の調値「□35」に合うように、上昇する2楽音に変える。
- 1.4 直前／直後の音節との音程が広すぎる／狭すぎるので、適切な音程に調整してある、と考えられる。
- 1.5 オリジナルには無い楽音を加える。
2. 当該音節の声調と関係がない。
 - 2.1 上昇／下降する2 (～3) 楽音を1楽音に変える。
 - 2.2 直後の、より高い／低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇／下降する2 (～3) 楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。
 - 2.3 オリジナルにおける直前／直後の楽音を変えた結果、オリジナルのメロディーラインから消失した楽音を補うために、二次的に、オリジナルにおける直前／直後の楽音に変えてある、と考えられる。
 - 2.4 オリジナルにおける直前／直後の楽音を変えた結果、オリジナルにおけるその楽音との音程を保つために、二次的に変えてある、と考えられる。
 - 2.5 同じ曲の別の部分を転用する。
 - 2.6 目下のところ、理由不明。

0.3 調査対象とした曲

調査対象とした曲は、表2の通りである。

「No.」欄は、本稿で扱う順で、広東語カバー曲の発表年順（広東語カバー曲の発表年が同じ場合は、オリジナル曲の発表年月日順）。

「調」欄の、大文字はMajor（長調）を、小文字はminor（短調）を、それぞれ表わす。

カバー曲の「調」欄の網掛けは、オリジナル曲と異なることを示す。

表2

No.	カバー曲				オリジナル曲			
	年	曲	調	歌手	年	曲	調	歌手
1	1984	逝去的愛	B ^b	梅艷芳	1979	ラヴ・イズ・オーヴァー	B ^b	欧陽菲菲
2	1984	H ₂ O	D	張國榮	1980	TOKIO	D	沢田研二
3	1984	MONICA	G	張國榮	1984	モニカ	F	吉川晃司
4	1985	第一次約會	F	林憶蓮	1983	時をかける少女	A	原田知世
5	1992	胡思亂想	B ^b	陳慧嫻	1971	さらば恋人	F	堺正章
6	1992	情人知己	A ^b	葉倩文	1981	男と女	E ^b	チャゲ&飛鳥
7	1993	若你真愛我	D ^b	王菲	1981	悪女	A	中島みゆき

8	1994	懲罰你	f	黎 姿	1983	春なのに	g	柏原芳恵
9	2005	只要你愛我	F [#]	鄭中基	2004	彩～Aja～	G	サザンオールスターズ
10	2010	原諒我要高飛	c [#] -E- c [#]	陳柏宇	2009	YELL	d-F-d	いきものがかり

楽譜は、筆者が音源を聞いて記譜した。カバー曲の調がオリジナル曲と異なる場合は、比較し易いように、オリジナル曲の方を移調し、カバー曲の方の調に揃えた。従って、本稿中で言及するオリジナル曲の楽音の高さは、カバー曲と同一の調に移調した後のものである。

「調形(平ら／昇り／降り)に関わらず、声調の始点ではなく、終点が関与している」(Chan1987)に基づき、楽譜中、調値イメージの下に、音節末の調値を数字で示す。また、「第1声(陰平)」の字が、下降する2楽音に対応する場合(高降調□53の方を用いる)や(拙稿2010)、「第2声(陰上)」(□35)の字が、上昇する2楽音に対応する場合(拙稿2013b)、そして今回新たに見つかった「第5声(陽上)」(□23)の字が、上昇する2楽音に対応する場合は、「終点だけでなく始点も関与している」ので、それぞれ、「53」「35」「23」のように、音節初頭・末尾とも表示して下線を引く。

尚、以下の場合、「楽音の高さを変えていない」と見なす。

1. オリジナル曲の楽音が、カバー曲ではリズムのみ異なる場合。
2. オリジナル曲の楽音が、カバー曲では、*mordent* / *pralltriller*のように、一旦2度下／上の楽音を経た直後に元の高さの楽音に戻る場合。
3. 2.とは逆に、カバー曲の楽音が、オリジナル曲では、*mordent* / *pralltriller*のように、一旦2度下／上の楽音を経た直後に元の高さの楽音に戻る場合。

1. 梅艷芳 1984「逝去的愛」(歐陽菲菲 1979「ラヴ・イズ・オーヴァー」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・A''・B・C・A'''・A''''に分ける。

1.1

A

o ver かなしい けれどー おわりに

o ver 像那已逝 的美夢 當初的 愛

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 3 3 2 5 3 2 5 5 5 3

①「的 dik¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

1.2

A'

っ だけ あなたの ため Love is

唏 噓 逝去 往事 不可 追 Love is

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

5 5 2 3 3 2 5 5 5

②「唏 hei¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「do・re」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

1.3

C

③

き っ と さ い ご の こ い だ ー と

一 朝 分 散 一 不 再 一 聚

□ □ □ □ □ □ □

5 5 5 3 5 3 2

③「再 zhoi³ □」(音節末調値3)は、直前の「不 bat¹ □」(同5)の「fa」より低くなるように、オリジナルの「fa・mi^b」をカバーでは「re・do」に下げている。

1.4

A'''

④ ⑤ ⑥

て っ て ー ふ り む か な い で ー Love is

④ ⑤ ⑥

不 可 思 任 這 故 事 終 止 Love is

□ □ □ □ □ □ □ □ □

5 5 5 2 3 3 2 5 5

④「思 si¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「re・do」をカバーでは1楽音「do」に変えている。

⑤「終 zhong¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「do・re」をカバーでは1楽音「re」に変えている。

⑥「止 zhi² □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「re・do」をカバーでは1楽音「do」に変えている。

2. 張國榮 1984 「H₂O」 (沢田研二 1980 「TOKIO」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲を A・A'・B・B'・C・D に分ける。

2.1

A

①「便 bin⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「我 ngo⁵ □」(同3)の「re」より低く、且つ、直後の「熱 yit⁶ □」(同2)の「si」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「re」をカバーでは「si」に下げている。

②「到 dou³ □」(音節末調値3)は、直前の「熱 yit⁶ □」(同2)の「si」より高く、且つ、3音前の「我 ngo⁵ □」(同3)や直後の「控 hung³ □」(同3)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si」をカバーでは「re」に上げてある。

2.2

B'

TO KI O TO KI O がそらをと ぶ

H 2 0 可 否迫使 我冷靜十 秒

5 5 5 5 3 3 2 2 3

③「冷 lāng⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直前の「re」から、直後の「si」という、より低い楽音に向かうため、渡りとなる1楽音として、オリジナルの「re」をカバーでは「do[#]」に下げている、と考えられる。

④「十 sap⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの「si」のまま変える必要がなかったが、直前の「si」から、直後の「re」という、より高い楽音に向かうため、渡りとなる1楽音として、オリジナルの「si」をカバーでは「do[#]」に上げてある、と考えられる。

2.3

C(1~4小節目)

うみに う かん だ ひかりーの あわ だと

她眼晴 卻帶笑 輕輕使 我 輕輕的 飄

5 3 5 3 3 3 5 5 5 3 5 5 5 5

⑤「使 sai² □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「re・la」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

2.4

C(5~8 小節目)

⑥~⑨

おまえは いったーた ねー

⑥ ⑦ ⑧ ⑨

教 這 世界 似 個 玩笑

□ □ □ □ □ □ □ □

3 3 3 3 3 3 2 3

⑥「似 chi^5 □」(音節末調値3)・⑦「個 go^3 □」(同3)・⑧「玩 wun^6 □」(同2)・⑨「笑 siu^3 □」(同3)は、音節末調値「3・3・2・3」に合うように、オリジナルの「 $la \cdot si \cdot la \cdot fa^\# \cdot fa^\# \cdot la$ 」6楽音をカバーでは「 $la \cdot la \cdot sol \cdot la$ 」4楽音に変えてある。

2.5

D(1~4 小節目)

⑩ ⑪ ⑫ ⑬

みつめて いる と しに そー う だ と

⑩ ⑪ ⑫ ⑬

現 在 我 一 極 端 衝 動 聲 一 音 一 也 在 變 調

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 2 3 2 5 5 2 53 53 3 2 3 2

⑩「聲 $sing^1$ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 $fa^\#$ 」をカバーでは下降する2楽音「 $fa^\# \cdot mi$ 」に変えてある。

⑪「音 yam^1 □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 mi 」をカバーでは下降する2楽音「 $mi \cdot re$ 」に変えてある。

⑫「也 ya^5 □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「 $re \cdot do^\#$ 」をカバーでは1楽音「 re 」に変えてある。

⑬「變 bin³ ㄅ」(音節末調値3)は、直前の「在 zhoi⁶ ㄉ」(同2)の「do[#]」より高く、且つ、2音前の「也 ya⁵ ㄝ」(同3)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「re」に上げてある。

2.6

D(5~8小節目)

⑭	⑮	⑯
くわえ た ば こ で な み だ ー お と し た		
⑭	⑮	⑯
人 迷 糊 胡 亂 作 夢 理 智 也 已 被 她 干 一 擾		
□ □ □ □ □ ㄉ □ □ ㄉ □ □ □ □ □ □		
1 1 1 1 2 3 2 3 3 3 3 2 5 <u>53</u> 3		

⑭「作 zhok³ ㄉ」(音節末調値3)は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、オリジナルの「re」をカバーでは「do[#]」に下げている。この例は、目下のところ、理由不明である。

⑮「已 yi⁵ ㄝ」(音節末調値3)は、直後の「被 bei⁶ ㄉ」(同2)の「si」より高く、且つ、1~3音前の「理 lei⁵ ㄝ」(同3)・「智 zhi³ ㄉ」(同3)・「也 ya⁵ ㄝ」(同3)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si」をカバーでは「re」に上げてある。

⑯「干 gon¹ ㄍ」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa[#]」をカバーでは下降する2楽音「fa[#]・re」に変えている。

3. 張國榮1984「MONICA」(吉川晃司1984「モニカ」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・B・A'・Cに分ける。

3.1

A

まよな かの ス コ ー ル バックミラーに のぞけば

你以往愛我愛我 不顧一切 將一生青春犧牲 給我光輝

□□□□□□□ □ □ □ □ □□ □□□□□ □ □ □ □

3 3 3 3 3 3 3 5 3 5 3 5 5 5 5 5 5 5 5 3 5 5

①~⑦

①②③④⑤⑥⑦

①「將 zhǒng¹ □」(音節末調値5)・②「一 yat¹ □」(同5)・③「生 sang¹ □」(同5)・④「青 ching¹ □」(同5)・⑤「春 chōn¹ □」(同5)・⑥「犧 hei¹ □」(同5)・⑦「牲 sang¹ □」(同5)は、音節末調値「5・5・5・5・5・5・5」に合うように、オリジナルの「la・la・la・la・la・la・sol・sol」8楽音をカバーでは「si・si・si・si・si・si・si」7楽音に変えてある。

3.2

B

Thanks Thanks Thanks はちが つの Sa ー d so ng

誰 能 代 替 你 地 位

□ □ □ □ □ □ □ □

1 1 2 3 3 2 2

⑧ ⑨ ⑩

⑧ ⑨ ⑩

⑧「你 nei⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa[#]」をカバーでは1

楽音「fa[#]」に変えてある。

⑨「地 dei⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「你 nei⁵ □」(同3)の「fa[#]」より高くないように、オリジナルの「sol」をカバーでは「fa[#]」に下げている。

⑩「位 wai⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa[#]」をカバーでは1楽音「fa[#]」に変えてある。

3.3

A'

⑪~⑰	
ボンネットにはあめのおと	カセットでかき けしたよ
你以往 教我教我 戀愛真諦 □□□ □□□□ □ □ □ □	只可惜 初生之虎 將你睇低 □□□ □□□□ □ □ □ □
3 3 3 3 3 3 3	5 3 5 3
5 5 5 5 5 5 5	5 3 5 5

⑪「只 zhi² □」(音節末調値5)・⑫「可 ho² □」(同5)・⑬「惜 sik¹ □」(同5)・⑭「初 cho¹ □」(同5)・⑮「生 sāng¹ □」(同5)・⑯「之 zhi¹ □」(同5)・⑰「虎 fu² □」(同5)は、音節末調値「5・5・5・5・5・5・5」に合うように、オリジナルの「la・la・la・la・la・la・sol」7楽音をカバーでは「si・si・si・si・si・si・la」7楽音に変えてある。

3.4

C(5~8 小節目)

⑮ このま ちーさえ ダイヤ モンドに きらめ いた な
 OH 當 光 陰 已-漸 逝 方知它 珍- 貴 你 已 有 依 歸 負
 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
 5 5 5 3 2 2 5 5 5 5 3 3 3 5 5 2

⑮ 「陰 yam^1 □」(音節末調値5)は、2音前の「當 $dong^1$ □」(同5)や直前の「光 $gwong^1$ □」(同5)の「mi」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「mi」に下げている。

⑲ 「你 nei^5 □」(音節末調値3)・⑳ 「已 yi^5 □」(同3)・㉑ 「有 yau^5 □」(同3)は、直前の「貴 $gwai^3$ □」(同3)の「sol」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「la」をカバーでは「sol」に下げている。

3.5

C(9~12 小節目)

⑳ にも かもが きみの せい さ Oh!
 了 你 錯 愛 此 美 夢 永 遠 藏
 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
 3 3 3 3 5 3 2 3 3 1

㉒ 「錯 cho^3 □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「do・si」をカバーでは1楽音「do」に変えている。

3.6

C(13~14 小節目)

⑬ ⑭

モ ニ カ

⑬ ⑭

於 - 心 底

☐ ☐ ☐

53 5 5

⑬「於 yui¹ ☐」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa[#]」をカバーでは下降する2楽音「fa[#]・mi」に変えてある。

⑭「心 sam¹ ☐」(音節末調値5)は、直後の「底 dei² ☐」(同5)の「mi」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「mi」に下げてある。

4. 林憶蓮1985「第一次約會」(原田知世1983「時をかける少女」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・Cに分ける。

4.1

A(1~4 小節目)

① ② ③

あなた わたし の も と から

① ② ③

你 約 我 到 海 一 邊 一 去 欣 賞 一 日 落

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

3 3 3 3 35 53 3 5 35 2 2

①「海 hoi² ☐」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリ

ジナルの1楽音「mi」をカバーでは上昇する2楽音「re・mi」に変えてある。

②「邊 bin¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

③「賞 sǒng² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは上昇する2楽音「re・mi」に変えてある。

4.2

A(5~8小節目)

④「的 dik¹ □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「la」のまま変える必要がなかったが、直後の「sol」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「la」をカバーでは「sol」に下げている、と考えられる。

4.3

A'(1~4小節目)

⑤「點 dim²□」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは上昇する2楽音「re・mi」に変えてある。

4.4

A'(5~8小節目)

ひとりでい かない とちか かって わたしは	
看 鏡子裡 成熟 了 的 我 人 人 垂 稱 明 媚 如 花	
3 3 5 3 1 2 3 5 3 1 1 1 5 1 2 1 5	

⑥「人 yan⁴□」(音節末調値1)は、直前の「人 yan⁴□」(同1)や直後の「垂 söü⁴□」(同1)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「re」に上げてある。

⑦「媚 mei⁶□」(音節末調値2)は、直前の「明 ming⁴□」(同1)や直後の「如 yü⁴□」(同1)の「re」より低くならないように、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「re」に上げてある。

4.5

A'(9~12小節目)

わたしは さま よ い び と になる	
柔 情 如 水 何 一 以 總 一 是 望 著	
1 1 1 5 1 3 5 2 2 2	

⑧「情 ching⁴□」(音節末調値1)は、直前の「柔 yau⁴□」(同1)や直後の「如 yü⁴□」(同1)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「re」に上げてある。

4.6

B(1~4小節目)

と	き	を	ー	か	ける	しょう	じょ
約	會	我	但	今	天	初	初
見	見	見	見	見	見	見	見
3	2	3	2	5	5	5	5
3	2	3	2	5	5	5	5

⑨「我 ngo⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「mi・fa」をカバーでは1楽音「fa」に変えてある。

4.7


B(5~8小節目)

あ	い	は	ー	か	が	や	く
肩	並	肩	緩	歩	這	海	一
邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
5	2	5	2	2	3	5	5
5	2	5	2	2	3	5	5

⑩「肩 gin¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

4.8

C(1~4 小節目)

⑪ ⑫	
	一 こ も み ら い も せ い ざ も こ え る か ら
⑪ ⑫	
	天 一 也 一 一 長 與 水 一 連 轉 送 情 侶 一 闕 愛 之
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	<u>53</u> <u>23</u> 1 3 5 1 5 3 1 3 5 3 3 5

⑪「天 tin¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「la」をカバーでは下降する2楽音「la・sol」に変えてある。

⑫「也 ya⁵ □」(音節頭末調値23)の前半は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「sol」をカバーでは上昇する2楽音「sol・la」に変えてあり、後半は、直後の「re」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「sol」をカバーでは「re」に下げたのである、と考えられる。

4.9

C(5~8 小節目)

⑬ ⑭	
	だ き と め て
⑬ ⑭	
	歌 真 一 心 一 永 不 變
	□ □ □ □ □ □
	5 <u>53</u> <u>53</u> 3 5 3

⑬「真 zhan¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「la」をカバーでは下降する2楽音「la・sol」に変えてある。

⑭「心 sam¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、

オリジナルの1楽音「sol」をカバーでは下降する2楽音「sol・fa」に変えてある。

5. 陳慧嫻 1992「胡思亂想」(塚正章 1971「さらば恋人」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・A''・A'''・A''''・A'''''・B'・A''''''・A'''''''に分ける。

B'

①「思 si¹□」(音節末調値5)は、直前の「我 ngo⁵□」(同3)の「si^b」との音程が「長2度」⁴⁾では狭すぎるので、少し広げて「完全5度」⁵⁾になるように、オリジナルの「do」をカバーでは「fa」に上げてある、と考えられる。

②「想 sōng²□」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは上昇する2楽音「re・fa」に変えてある。

6. 葉倩文1992「情人知己」(チャゲ&飛鳥1981「男と女」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B'・C・C'・A''・A'''・A''''に分ける。

6.1

A



①

りでこーこーまで ありいて きたのに あなたの

友愛 不減半 點 一聲兩聲 總 也是心聲 誰可

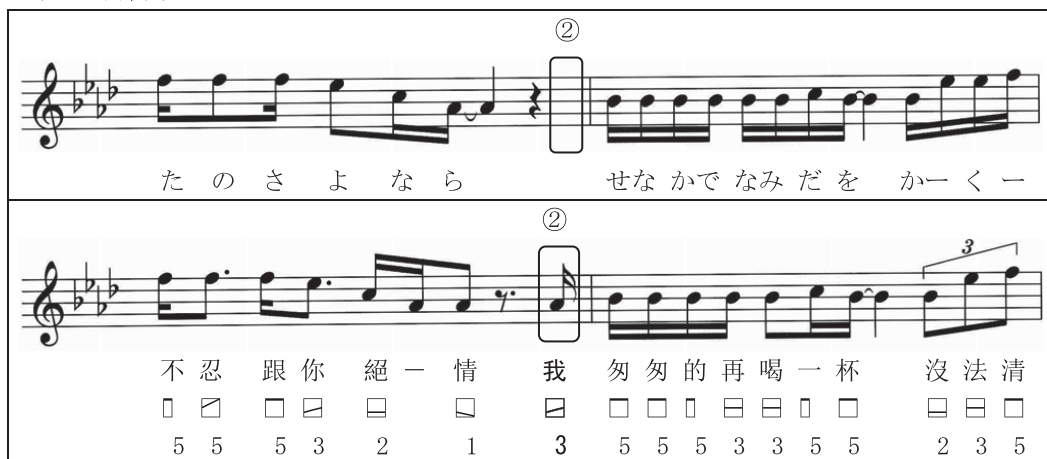
☐ 日 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

3 3 5 5 3 5 5 5 3 5 5 3 2 5 5 1 5

①「心 sam¹☐」(音節末調値5)は、直前の「是 si⁶☐」(同2)の「fa」との音程が「完全4度」⁶⁾では狭すぎるので、少し広げて「完全5度」⁷⁾になるように、オリジナルの「si[♭]」をカバーでは「do」に上げてある、と考えられる。

6.2

B(3~4小節目)



②

たの さ よ なら せなかで なみだを かーくー

不 忍 跟 你 絶 一 情 我 匆 匆 的 再 喝 一 杯 沒 法 清

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

5 5 5 3 2 1 3 5 5 5 3 3 5 5 2 3 5

②「我 ngo⁵☐」(音節末調値3)は、直後の「匆 chung¹☐」(同5)の「si[♭]」より低くなるように、

カバーでは「la^b」として加えてある。

6.3

B(5~6小節目)

す わ ー た ー し ー

醒 作 決 ー 定

5 3 3 2

③「作 zhok³ ㄷ」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「la^b・sol」をカバーでは1楽音「la^b」に変えてある。

④「定 ding⁶ ㄷ」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa」をカバーでは1楽音「fa」に変えてある。

6.4

C

あ ー な た の あ い を も っ と ぬ く も り を も っ と ー

難 怪 曾 說 出 不 能 成 為 知 己 的 怎 麼 可 能 相 戀

1 3 1 3 5 5 1 1 1 5 5 5 5 5 5 1 5 5

⑤「的 dik¹ ㄷ」(音節末調値5)は、直前の「己 gei² ㄷ」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「mi^b」をカバーでは「do」に上げてある。

⑥「戀 lün² □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「si^b・la^b」をカバーでは1楽音「si^b」に変えてある。

6.5

C'(1~2小節目)

あふれるほどに あなたの あいをもつとぬくもりをもつとか

這晚 我認真聽見 而我和你已經能成為知己終不可能相戀

3 3 3 2 5 5 3 1 3 1 3 3 5 1 1 1 5 5 5 5 5 1 5 5

⑦「而 yi⁴ □」(音節末調値1)は、直後の「我 ngo⁵ □」(同3)の「la^b」より低く、且つ、2音後の「和 ho⁴ □」(同1)の「mi^b」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「la^b」をカバーでは「mi^b」に下げている。

⑧「終 chung¹ □」(音節末調値5)は、直前の「己 gei² □」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「mi^b」をカバーでは「do」に上げてある。

⑨「戀 lün² □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「si^b・mi^b」をカバーでは1楽音「si^b」に変えてある。

6.6

C'(5小節目)

んじていたかった

我 卻 怕 未 可 以 遇 見
 □ □ □ □ □ □ □ □
 3 3 3 2 5 3 2 3

⑩「可 ho² □」(音節末調値5)は、2~4音前の「我 ngo⁵ □」(同3)・「卻 kök³ □」(同3)・「怕 pa³ □」(同3)の「la^b」より高くなるように、オリジナルの「la^b」をカバーでは「si^b」に上げてある。

⑪「以 yi⁵ □」(音節末調値3)は、直前の「可 ho² □」(同5)より低く、且つ、3~5音前の「我 ngo⁵ □」(同3)・「卻 kök³ □」(同3)・「怕 pa³ □」(同3)の「la^b」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si^b」をカバーでは「la^b」に下げている。

6.7

A'''

こはおんな おんなは おとこ あなたを

看 你 此 刻 眼 睛 仿 佛 我 不 應 拒 絕 邀 一 請 誰 知 應
 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
 3 3 5 5 3 5 5 5 3 5 5 3 2 53 5 1 5 5

⑫「邀 yiu¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「si^b」をカバーでは下降する2楽音「do・si^b」に変えている。

7. 王菲 1993「若你真愛我」(中島みゆき 1981「悪女」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・A''・A'''・B・B'に分ける。

7.1

A(2~5 小節目)

①	②			③	④			
<p style="text-align: center;"> 的 鮮一花 不需要你 的 擁一抱一 不需要你 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 5 53 5 5 5 3 3 5 35 23 5 5 3 3 </p>								

①「鮮 si^1 □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 la^b 」をカバーでは下降する2楽音「 $la^b \cdot fa$ 」に変えてある。

②「花 fa^1 □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「 $mi^b \cdot fa$ 」をカバーでは1楽音「 fa 」に変えてある。

③「擁 $yung^2$ □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 fa 」をカバーでは上昇する2楽音「 $mi^b \cdot fa$ 」に変えてある。

④「抱 pou^5 □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 re^b 」をカバーでは上昇する2楽音「 $si^b \cdot re^b$ 」に変えてある。

7.2

A(6~9小節目)

Musical score for the A section (measures 6-9). The score is in G minor (two flats) and 4/4 time. It features two systems of notation. The first system shows the original melody (circled 5) and the cover melody (circled 6) for the Chinese lyrics: 啊 所 在 的 悲 哀 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭 扭. The second system shows the cover melody for the Cantonese lyrics: 的 謊 一 話 混 進 的 真 一 話 令 我 不 知 應 該 怎 麼 好 不 需 要 你. Below the lyrics is a tone notation system consisting of a grid of boxes and numbers: 5 5 3 | 2 2 3 5 | 5 3 | 2 2 3 | 5 5 5 5 5 5 | 5 | 5 5 3 3.

⑤ 「謊 $fong^1 \square$ 」 (音節頭末調値 53) は、「第1声 (陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 sol^b 」をカバーでは下降する2楽音「 $sol^b \cdot si^b$ 」に変えてある。

⑥ 「真 $zhan^1 \square$ 」 (音節頭末調値 53) は、「第1声 (陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 sol^b 」をカバーでは下降する2楽音「 $sol^b \cdot si^b$ 」に変えてある。

7.3

A(2~5小節目)

Musical score for the A section (measures 2-5). The score is in G minor and 4/4 time. It features two systems of notation. The first system shows the original melody (circled 7, 8) and the cover melody (circled 9) for the Chinese lyrics: 我 們 的 解 釋 不 需 要 你 的 安 慰 不 需 要. The second system shows the cover melody for the Cantonese lyrics: 的 解 一 釋 不 需 要 你 的 安 一 慰 不 需 要. Below the lyrics is a tone notation system consisting of a grid of boxes and numbers: 5 | 3 5 | 5 | 5 5 3 3 | 5 | 5 3 | 3 | 5 5 3 5.

⑦ 「解 $gai^2 \square$ 」 (音節頭末調値 35) は、「第2声 (陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 la^b 」をカバーでは上昇する2楽音「 $fa \cdot la^b$ 」に変えてある。

⑧ 「釋 $sik^1 \square$ 」 (音節末調値 5) は、オリジナルの上昇する2楽音「 $mi^b \cdot fa$ 」をカバーでは1楽音「 fa 」に変えてある。

⑨ 「安 $on^1 \square$ 」 (音節頭末調値 53) は、「第1声 (陰平)」の高降調の方の調値に合うように、

オリジナルの1楽音「fa」をカバーでは下降する2楽音「fa・re^b」に変えてある。

7.4

A(6~8小節目)

⑩「遷 chin¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「sol^b」をカバーでは下降する2楽音「sol^b・si^b」に変えてある。

7.5

A'

⑪「把 ba² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「la^b」をカバーでは上昇する2楽音「fa・la^b」に変えてある。

⑫「握 ak¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「mi^b・fa」をカバーでは1楽音「fa」に変えてある。

⑬「知 zhi¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、

オリジナルの1楽音「fa」をカバーでは下降する2楽音「fa・re^b」に変えてある。

7.6

A^m(2~5小節目)

⑭	⑮	⑯						
□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	5 ³	3	5	3	3	3	5	5 ³

⑭「些 se¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「la^b」をカバーでは下降する2楽音「la^b・fa」に変えてある。

⑮「嗎 ma³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「mi^b・fa」をカバーでは1楽音「fa」に変えてある。

⑯「些 se¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa」をカバーでは下降する2楽音「fa・re^b」に変えてある。

7.7

A^m(6~8小節目)

								⑰
□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	5	2	2	3	5	5	5	5
				3	5			2

⑰「下 ha⁶ □」(音節末調値2)の後半は、直前の「一 yat¹ □」(同5)の「mi^b」との音程が「長

2度⁸⁾では狭すぎるので、少し広げて「完全4度⁹⁾」になるように、オリジナルの「re^b」をカバーでは「si^b」に下げている、と考えられる。

7.8

B

ておいた ことば がほろり こぼれ てしまう いかない で あく

可以破碎—但是不 可活受罪—愛著仍 舊是我嗎只要問一句 若 你

☐☐☐☐ ☐☐☐ ☐☐☐☐ ☐☐☐ ☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐ ☐ ☐ ☐

5 3 3 3 2 2 5 5 2 2 2 3 2 1 2 2 3 3 5 3 2 5 3 2 3

⑱「碎 söü³ ☐」(音節末調値3)の後半は、オリジナルの「sol^b」のまま変える必要がなかったが、直後の「fa」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「sol^b」をカバーでは「fa」に下げている、と考えられる。

⑲「罪 zhöü⁶ ☐」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「mi^b」のまま変える必要がなかったが、直後の「re^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi^b」をカバーでは「re^b」に下げている、と考えられる。

8. 黎姿 1994 「懲罰你」(柏原芳恵 1983 「春なのに」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・C・A''・A'''に分ける。

8.1

A

①「講 gong² □」(音節末調値5)は、直前の「卻 kōk³ □」(同3)の「re^b」より高くなるように、オリジナルの「do」をカバーでは「mi^b」に上げてある。

8.2

A'

②「退 tōu³ □」(音節末調値3)は、直後の「出 chōt¹ □」(同5)の「do」より低くなるように、カバーでは「si^b」として加えてある。

③「不 bat¹ □」(音節末調値5)は、直後の「甘 gam¹ □」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、

オリジナルの「si^b」をカバーでは「do」に上げてある。

8.3

B

うでともだち よんてますね ながれ

心一難道纏下去 會有另一個結局 無論是

53 1 2 1 2 3 3 3 2 5 3 3 2 1 2 2

④「論 lön⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「無 mou⁴ □」(同1)の「fa」との音程が「短3度」¹⁰⁾では広すぎるので、少し狭めて「長2度」¹¹⁾になるように、オリジナルの「la^b」をカバーでは「sol」に下げている、と考えられる。

⑤「是 si⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「論 lön⁶ □」(同2)の「sol」となるべく同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do」をカバーでは「la^b」に下げている。

8.4

A'

ぎょうしても しろいきっさてん いま

在熱戀一裡 永沒法看清是與非 不得

2 2 5 3 3 2 3 3 5 2 3 5 5 5

⑥「不 bat¹ □」(音節末調値5)は、直後の「得 dak¹ □」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si^b」をカバーでは「do」に上げてある。

8.5

A'''

の は な し は な ん だ っ た の と き か										
晴 在 演 - 戲 看 著 你 說 聲 對 不 起 - 轉										
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	2	5	3	3	2	3	3	5	3	5

⑦「不 bat¹□」(音節末調値5)は、直前の「對 döü³□」(同3)の「la^b」より高くなるように、カバーでは「si^b」として加えてある。

⑧「一 yat¹□」(音節末調値5)は、直後の「轉 zhün³□」(同3)の「do」より低くならないように、オリジナルの「si^b」をカバーでは「do」に上げてある。

9. 鄭中基 2005「只要你愛我」(サザンオールスターズ 2004「彩～Aja～」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・B'・C・A''・A'''・B''・B'''・C'・D・E・D'・E'・A''''・A'''''・B''''・B'''''・C''に分ける。

9.1

D

と こ ろ へ た そ が れ も I' m al right ろ ぼ う の か げ は Blu										
不 用 收 科 一 我 愛 的 過 火 知 一 道 麼 怕 且 只 得 妳 才 可										
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	2	5	5	3	3	5	3	5	3	5

①「收 sau¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「sol[#]・fa[#]」をカバーでは1楽音「sol[#]」に変えてある。

②「科 fo¹ ▢」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa[#]」をカバーでは下降する2楽音「sol[#]・fa[#]」に変えてある。

9.2

D'

③ ④
こい ーなら あ ころれの Love is al right も うにどと あ
③ ④
怎樣 收科一 願 意將這生 交託我 麼 只 要妳愛 我想 □□ □▢ □ ▢□▢□ □▢▢ □ □ □ 5 2 553 2 3 5 3 5 5 3 3 5 5 3 3 3 3 5

③「收 sau¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「sol[#]・fa[#]」をカバーでは1楽音「sol[#]」に変えてある。

④「科 fo¹ ▢」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa[#]」をカバーでは下降する2楽音「sol[#]・fa[#]」に変えてある。

10. 陳柏宇 2010「原諒我要高飛」(いきものがかり 2009「YELL」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・B'・C・C'・A''・A'''・D・D'・C''・C'''に分ける。

10.1

A

は	い	ま	ど	こ	に	あ	る	ー	の	と	ー	ふ	み
到	天	上	相	距	幾	千	幾	百	里	我	又		
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
3	5	2	5	3	5	5	5	3	3	3	2		

①「幾 gei² □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・mi」をカバーでは1楽音「fa[#]」に変えてある。

②「里 löü⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・re[#]」をカバーでは1楽音「re[#]」に変えてある。

10.2

A'

を	だ	き	あ	き	め	く	ま	ど	ー	ベ	に	ー	か	じ
到	想	像	相	隔	了	幾	多	分	勇	氣	我	在		
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
3	5	2	5	3	3	5	5	5	3	3	3	2		

③「分 fan¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・mi」をカバーでは1楽音「fa[#]」に変えてある。

10.3

B(3~4小節目)

こえて ぼくら こどくな ゆめーへと

我要飛 我怕飛 無人認領 我的決心

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

3 3 5 3 3 5 1 1 2 3 3 5 3 5

④「的 dik¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・si」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

10.4

B(5~6小節目)

あ る く ー サ ヨ

我 自 問 如 若

□ □ □ □ □

3 2 2 1 2

⑤「問 man⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「re[#]・do[#]」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (7)

10.5

C

⑥

ぞれの ゆめ へと ぼくら ーをつなぐ Yeーel とともに

我 便 要 出 走 多 年 為 了 未 來 做 個 鍛 一 煉 還 是 慶

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

3 2 3 5 5 5 1 2 3 2 1 2 3 3 2 1 2 3

⑥「未 mei⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「la[#]・sol[#]」をカバーでは1楽音「la[#]」に変えてある。

10.6

C

⑦

すご した ーひび をむね にだ ーいて とび

幸 到 彼 此 一 再 會 時 有 過 一 些 昨 天 原 諒

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 3 5 5 3 2 1 3 3 5 5 2 5 1 2

⑦「些 se¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・si」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

10.7

A'''

⑧

を た だ お も う な み ー だ も ー ま っ

⑧

到 相 聚 需 要 幾 多 聲 叫 喊 ー 你 若

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

3 5 2 5 3 5 5 5 3 3 3 2

⑧「聲 seng¹ □」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・mi」をカバーでは1楽音「fa[#]」に変えてある。

11. 結語

11.1

今回調査した1984年～2010年のJ-POP広東語カバー曲10曲は、全てオリジナル曲の楽音の高さを変えてある、または、オリジナル曲には無い楽音を加えてある。

前回までに帰納した、カバー曲で楽音の高さを変えてある場合のタイプ分類は、今回新たに得られた「1.4『第5声（陽上）』の上昇調の調値『□23』に合うように、上昇する2楽音に変える。」を加え、以下のように修正する。

尚、各曲の略称は表3の通り。

表3

1	逝去的愛	1「逝」	2	H ₂ O	2「H」
3	MONICA	3「M」	4	第一次約會	4「第」
5	胡思亂想	5「胡」	6	情人知己	6「人」
7	若你真愛我	7「若」	8	懲罰你	8「懲」
9	只要你愛我	9「只」	10	原諒我要高飛	10「原」

以下、[]内は各タイプの略称。

1. 当該音節の声調と関係が有る。【計77音節】

- 1.1 音節末調値がオリジナルの楽音の高さに合わない。【計46音節】
- 1.1.1 その1音節の高さを変える。[その1音節] 【24音節】 (1「逝」③, 2「H」①・②・⑬・⑮, 3「M」⑨・⑱・⑲・⑳・㉑・㉒, 4「第」⑥・⑦・⑧, 6「人」⑤・⑦・⑧・⑩・⑪, 8「懲」①・③・⑤・⑥・⑧)
- 1.1.2 前後数音節をまとめて高さを変える。[数音節] 【14音節】 (3「M」①～⑦・⑪～⑰)
- 1.1.3 前後数音節をまとめて、高さだけでなく、リズムまで変える。【計4音節】
- 1.1.3.1 同じ曲の別の部分を転用する。[別部分(有)] 【0音節】
- 1.1.3.2 比較的大胆に新たなリズムを創作する。[リズム] 【4音節】 (2「H」⑥～⑨)
- 1.2 「第1声(陰平)」の高降調の方の調値「 $\square 53$ 」に合うように、下降する2楽音に変える。[陰平53] 【19音節】 (2「H」⑩・⑪・⑱, 3「M」㉓, 4「第」②・⑪・⑬・⑭, 6「人」⑫, 7「若」①・⑤・⑥・⑨・⑩・⑬・⑭・⑱, 9「只」②・④)
- 1.3 「第2声(陰上)」の上昇調の調値「 $\square 35$ 」に合うように、上昇する2楽音に変える。[陰上35] 【7音節】 (4「第」①・③・⑤, 5「胡」②, 7「若」③・⑦・⑪)
- 1.4 「第5声(陽上)」の上昇調の調値「 $\square 23$ 」に合うように、上昇する2楽音に変える。[陽上23] 【2音節】 (4「第」⑫前, 7「若」④)
- 1.5 直前/直後の音節との音程が広すぎる/狭すぎるので、適切な音程に調整してある、と考えられる。[音程] 【4音節】 (5「胡」①, 6「人」①, 7「若」⑰, 8「懲」④)
- 1.6 オリジナルには無い楽音を加える。[加える] 【3音節】 (6「人」②, 8「懲」②・⑦)
2. 当該音節の声調と関係が無い。【計37音節】
- 2.1 上昇/下降する2楽音を1楽音に変える。[一楽音に] 【30音節】 (1「逝」①・②・④・⑤・⑥, 2「H」⑤・⑫, 3「M」⑧・⑩・㉒, 4「第」⑨・⑩, 6「人」③・④・⑥・⑨, 7「若」②・⑧・⑫・⑮, 9「只」①・③, 10「原」①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧)
- 2.2 直後の、より高い/低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇/下降する2(～3)楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。[向かう] 【6音節】 (2「H」③・④, 4「第」④・⑫後, 7「若」⑱・⑲)
- 2.3 オリジナルにおける直前/直後の音を変えた結果、オリジナルのメロディーラインから消失した音を補うために、二次的に、オリジナルにおける直前/直後の音に変えてある、と考えられる。[消失音] 【0音節】
- 2.4 オリジナルにおける直前/直後の音を変えた結果、オリジナルにおけるその音との音程を保つために、二次的に変えてある、と考えられる。[音程保つ] 【0音節】
- 2.5 同じ曲の別の部分を転用する。[別部分(無)] 【0音節】
- 2.6 目下のところ、理由不明。[不明] 【1音節】 (2「H」⑭)

各曲に現われるタイプ別の音節数をまとめると、表4の如くである。

表4

		1 逝	2 H	3 M	4 第	5 胡	6 人	7 若	8 懲	9 只	10 原	合計	
	音節数	130	114	141	101	223	237	226	183	323	380	2,058	類内 割合 (%)
1. 声調と関係有り	1.1.1 その1音節	1	4	6	3		5		5			24	31.2
	1.1.2 数音節			14								14	18.2
	1.1.3.1 別部分(有)											0	0
	1.1.3.2 リズム		4									4	5.2
	1.2 陰平53		3	1	4		1	8		2		19	24.7
	1.3 陰上35				3	1		3				7	9.1
	1.4 陽上23				1			1				2	2.6
	1.5 音程					1	1	1	1			4	5.2
	1.6 加える						1		2			3	3.9
	小計		1	11	21	11	2	8	13	8	2	0	77
割合(%)		0.8	9.6	14.9	10.9	0.9	3.4	5.8	4.4	0.6	0	3.7	
2. 声調と関係無し	2.1 一楽音に	5	2	3	2		4	4		2	8	30	81.1
	2.2 向かう		2		2			2				6	16.2
	2.3 消失音											0	0
	2.4 音程保つ											0	0
	2.5 別部分(無)											0	0
	2.6 不明		1									1	2.7
	小計		5	5	3	4	0	4	6	0	2	8	37
割合(%)		3.8	4.4	2.1	4.0	0	1.7	2.7	0	0.6	2.1	1.8	
合計		6	16	24	15	2	12	19	8	4	8	114	
割合(%)		4.6	14.0	17.0	14.9	0.9	5.1	8.4	4.4	1.2	2.1	5.5	

10曲中114音節（音節数合計の5.5%）がオリジナル曲の楽音の高さを変えてある。変えてある理由は、「1.」（声調と関係有り）が77音節（音節数合計の3.7%）、「2.」（声調と関係無し）が37音節（音節数合計の1.8%）であった。

楽音の高さを変えてある音節数が最も多かったのはNo.3の24音節、次いでNo.7の19音節。各曲音節数に対し、割合が最も高かったのはNo.3の17.0%、次いでNo.4の14.9%。

楽音の高さを変えてある音節数が最も少なかったのはNo.5の2音節、次いでNo.9の4音節。各曲音節数に対し、割合が最も低かったのはNo.5の0.9%、次いでNo.9の1.2%。

「1.1.1 その1音節」と「1.2 陰平53」は、10曲中6曲が有している。

「2.1 一楽音に」は、10曲中8曲が有している。

「1.」の音節数が最も多かったのはNo.3の21音節、次いでNo.7の13音節。その曲の音節数に対し、割合が最も高かったのはNo.3の14.9%、次いでNo.4の10.9%。

「2.」の音節数が最も多かったのはNo.10の8音節、次いでNo.7の6音節。その曲の音節数に対し、割合が最も高かったのはNo.2の4.4%、次いでNo.4の4.0%。

「1.」で最も多かったタイプは「1.1.1 その1音節」の24音節（タイプ1内の割合31.2%）、次いで「1.2 陰平53」の19音節（同24.7%）。

「2.」で最も多かったタイプは「2.1 一楽音に」の30音節（タイプ2内の割合81.1%）、次いで「2.2 向かう」の6音節（同16.2%）。

11.2

拙稿「(5)」(2014) および「(1)～(5) まとめ (その2)」(2015b) でも議論した「音程」タイプについて、今回新たに見つかった以下の例、

1. 音節末調値5－同2（調値差3）

「完全4度」（半音6個）では狭すぎるので、「完全5度」（半音8個）に広げてある、と考えられる。

ex1. 当該「心 sam¹□」（音節末調値5）－直前「是 si⁶□」（同2）（6「人」①）

「長2度」（半音3個）では狭すぎるので、「完全4度」（半音6個）に広げてある、と考えられる。

ex2. 当該「下 ha¹□」（音節末調値2）－直前「一 yat¹□」（同5）（7「若」⑫）

2. 音節末調値5－同3（調値差2）

「長2度」（半音3個）では狭すぎるので、「完全5度」（半音8個）に広げてある、と考えられる。

ex. 当該「思 si¹□」（音節末調値5）－直前「我 ngo³□」（同3）（5「胡」①）

3. 音節末調値2－同1（調値差1）

「短3度」（半音4個）では広すぎるので、「長2度」（半音3個）に狭めてある、と考えられる。

ex. 当該「論 lön⁶□」（音節末調値2）－直前「無 mou⁴□」（同1）（8「懲」④）

を加えると（囲み部分）、表5の如くなる。（表中では、×から○に調整していることを示す。）

表5

音程	半音の数	十二平均律の値 ¹²⁾	音節末調値の組合せ							
			5-1	5-2		5-3	3-2	2-1		
			調値差	4	3		2	1	1	
音節末調値間の周波数比	1.50	1.49		1.26	1.18		1.01			
短7度	11個	1.78	○							
長6度	10個	1.68	↑							
短6度	9個	1.59	×		×					
完全5度	8個	1.50	○	○	○	○	×			
増4度	7個	1.41	↑	↑	↓	↑				
完全4度	6個	1.33		×	○			×		
長3度	5個	1.26	×		↑	↑	○	↓	↓	
短3度	4個	1.19			↑	↑	↑	○	○	○
長2度	3個	1.12			×	×	×		×	↑
短2度	2個	1.06								×
完全1度	1個	1.00								×

「音節末調値5－同2（調値差3）」は、「同5－同1（調値差4）」の「完全5度」（半音8個）と並ぶ例もある。

「音節末調値5－同3（調値差2）」も、「同5－同1（調値差4）」や「同5－同2（調値差3）」の「完全5度」（半音8個）と並ぶ例もある。

「音節末調値2－同1（調値差1）」は、「同3－同2（調値差1）」の「短3度」（半音4個）より狭い「長2度」（半音3個）の例がある。

注

- 1) 北京大学中文系2003, 千島1991参照。調値は五度法（最高を5, 最低を1とする5段階）で示す。□の中は調値のイメージを表わす。尚, 本文中で発音を示すローマ字は千島式を用いる。
- 2) 「陰平」は高平でも高降でも可。
- 3) 拙稿（1）～（5）（2010～2014）で調査対象とした50曲は、以下の通り。

No.	カバー曲			オリジナル曲		
	年	曲	歌手	年	曲	歌手
1	1985	揺擺口紅	林憶蓮	1984	Rock'n Rouge	松田聖子
2	1985	愛情I Don't Know	林憶蓮	1985	天使のウィンク	松田聖子
3	1989	再會	關淑怡	1978	オリビアを聴きながら	杏里
4	1989	給我親愛的	張學友	1979	いとしのエリー	サザンオールスターズ
5	1990	每天愛你多一些	張學友	1990	真夏の果実	サザンオールスターズ
6	1992	我的親愛	黎 明	1992	もう恋なんてしない	槇原敬之
7	1994	陽光路上	黎瑞恩	1993	大切なあなた	松田聖子
8	2000	其實我很擔心	蘇永康	2000	TSUNAMI	サザンオールスターズ
9	2000	一生中一個你	鄭伊健	2000	桜坂	福山雅治
10	2000	留座	陳慧琳	2000	be alive	小柳ゆき
11	1993	唯獨你是不可取替	許志安	1992	世界中の誰よりきっと	中山美穂&WANDS
12	1994	廿世紀的戀人們	鄭伊健	1991	ラブ・ストーリーは突然に	小田和正
13	1995	誰令你心痴	張國榮 陳潔靈	1985	恋におちて－Fall in love－	小林明子
14	1995	留住夏季的風	孫耀威	1995	碧いうさぎ	酒井法子
15	1998	悠长假期	譚耀文	1996	LA・LA・LA LOVE SONG	久保田利伸 with ナオミキャンベル
16	1998	AHHHHH!	黎 明	1998	AHHHHH!	久保田利伸
17	1999	DEPARTURES	葉佩雯	1996	DEPARTURES	globe
18	1999	Can you celebrate?	葉佩雯	1997	CAN YOU CELEBRATE?	安室奈美恵
19	2000	我的命運	梁漢文	1999	Squall	福山雅治
20	2001	我還記得我是誰	陳慧珊	1999	あなたのキスを数えましょ う－You were mine－	小柳ゆき
21	1984	捕風の漢子	譚詠麟	1983	メリーアン	ALFEE
22	1984	酒紅色的心	譚詠麟	1983	ワインレッドの心	安全地帯

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (7)

23	1986	癡情意外	陳慧嫻	1985	碧い瞳のエリス	安全地帯
24	1986	藍雨	張學友	1986	レイニーブルー	徳永英明
25	1989	Don't Say Good Bye	譚詠麟	1987	輝きながら…	徳永英明
26	2003	環遊世界	SKY	1998	夜空ノムコウ	SMAP
27	2003	冒険後樂園	SKY	2003	世界に一つだけの花	SMAP
28	2003	不死傳説	陳奕迅	2003	メリッサ	ボルノグラフィティ
29	2005	閉目入神	鄭中基	2004	瞳をとじて	平井 堅
30	2006	3+1=1	Sunboy'z	2006	PRECIOUS ONE	KAT-TUN
31	1984	愛的替身	譚詠麟	1983	思い出がいっぱい	H ₂ O
32	1994	愛的故事 (上集)	孫耀威	1993	ロード	THE 虎舞竜
33	1995	正在愛	陳曉東	1995	シーソーゲーム ～勇敢な恋の歌～	Mr. Children
34	1999	Feel Like dance	葉佩雯	1995	Feel Like dance	globe
35	1999	Can't Stop Falling in Love	葉佩雯	1996	Can't Stop Fallin' in Love	globe
36	2004	假如我是假的	蕭正楠	2003	さくら (独唱)	森山直太朗
37	2007	我信	王友良	2006	Precious	伊藤由奈
38	2008	陰天假期	衛 蘭	2005	Endless Story	伊藤由奈
39	2009	給自己的信	鍾舒漫	2008	手紙～拝啓 十五の君へ～	アンジェラ・アキ
40	2010	再見不再見	陳柏宇	2009	僕は君に恋をする	平井 堅
41	1987	太陽星辰	張學友	1987	BIRDS	徳永英明
42	1991	壯志驕陽	張學友	1990	愛は勝つ	KAN
43	1991	Oh! 夜	黎 明	1991	Oh! Yeah!	小田和正
44	1992	一夜傾情	黎 明	1984	恋の予感	安全地帯
45	1992	紅日	李克勤	1991	それが大事	大事MAN プラザーズバンド
46	1992	喜歡你是你	許志安	1992	涙のキッス	サザンオールスターズ
47	1993	Chotto 等等	鄭秀文	1993	チョット	大黒摩季
48	1994	心血	許志安	1993	翼を広げて	DEEN
49	1994	陽光	黎 明	1993	All My Loving	福山雅治
50	1994	朋友心	許志安	1994	空と君のあいだに	中島みゆき

- 4) 「長2度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音3個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「re」を終点とする音程。ここでは、「si^b」を起点として、上に向かって「do」を終点とする音程。
- 5) 「完全5度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音8個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「sol」を終点とする音程。ここでは、「si^b」を起点として、上に向かって「fa」を終点とする音程。
- 6) 「完全4度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音6個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「fa」を終点とする音程。ここでは、「fa」を起点として、上に向かって「si^b」を終点とする音程。
- 7) 「完全5度」については、5) 参照。ここでは、「fa」を起点として、上に向かって「do」を終点とする音程。
- 8) 「長2度」については、4) 参照。ここでは、「mi^b」を起点として、下に向かって「re^b」を終点とする音程。
- 9) 「完全4度」については、6) 参照。ここでは、「mi^b」を起点として、下に向かって「si^b」を終点とする音程。

- 10) 「短3度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音4個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「mi[♯]」を終点とする音程。ここでは、「fa」を起点として、上に向かって「la[♭]」を終点とする音程。
- 11) 「長2度」については、4) 参照。ここでは、「fa」を起点として、上に向かって「sol」を終点とする音程。
- 12) 「十二平均律」とは、1オクターブ（例えば、「do」から一つ上の「do」まで）を12等分した音程。小数点以下第3位を四捨五入。

参考文献（参考文献は発行年順に並べた。）

- 石桁真礼生・丸田昭三・金光威和雄・末吉保雄・飯田隆・飯沼信義1965『楽典 理論と実習』, 音楽之友社。
下中邦彦 編集発行1983『音楽大事典』第5巻, 「平均律」の項, 平凡社。
張丹 主編1984《中文多用字典》, 天宇圖書公司出版。
Marjorie K. M. Chan 1987 “Tone and Melody in Cantonese”, Berkeley Linguistic Society, Proceeding of the 13th Annual Meeting, 1987, pp. 26-37, U.S.A。
千島英一1991『標準広東語同音字表』, 東方書店。
香港・萬里機構出版有限公司+東方書店1996『広東語辞典 ポケット版』, 東方書店。
白宛如1998《廣州方言詞典》, 江蘇教育出版社。
張双庆、林建平1999《香港话音档》, 上海教育出版社。
スティープン・マシューズ&ヴァージニア・イップ2000『広東語文法』, 千島英一&片岡新訳, 東方書店。
(Stephen Matthews and Virginia Yip 1994 “Cantonese: A Comprehensive Grammar”の日本語訳。)
北京大学中文系2003《汉语方音字汇》(第二版重排本), 语文出版社。
千島英一2005『東方広東語辞典』, 東方書店。
Ho, Wing See Vincie 2006 “The tone-melody interface of popular songs written in tone languages”, 9th International Conference on Music Perception and Cognition, 2006, pp. 1414-1422, Italy。
矢部公啓2008『カラオケ・ファンに贈る 音楽用語解説』, ドレミ楽譜出版社。
飯田真紀2009「広東語の歌の話」, 『TONGXUE』第38号, pp. 16-19。
劉振盛2010《廣州話普通話詞典》, 商務印書館。
樋口勇夫2010「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』22-1, pp. 17-40。
樋口勇夫2011「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (2)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』23-1, pp. 33-62。
麥耘、譚步雲2011《實用廣州話分類詞典》, 商務印書館。
樋口勇夫2013a「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (3)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』24-2, pp. 83-125。
樋口勇夫2013b「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (4)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』25-1, pp. 13-58。
樋口勇夫2014「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (5)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』26-1, pp. 21-57。
樋口勇夫2015a「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)~(5)まとめ (その1)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』26-2, pp. 45-86。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (7)

樋口勇夫 2015b 「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)～(5) まとめ (その2)」, 『名古屋学院大学論集—言語・文化篇—』 27-1, pp. 11-49.

樋口勇夫 2016 「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (6) —共通語カバー曲と比較して—」, 『名古屋学院大学論集—言語・文化篇—』 28-1, pp. 41-53.

音源および歌詞の資料

カバー曲

No.	曲名	歌手	作詞	編曲	年	レーベル	所収アルバム
1	逝去的愛	梅艷芳	鄭國江	趙文海	1984	Capital Artists	『The Regend of Pop Queen Anita Mui』 (1992)
2	H ₂ O	張國榮	林振強	黎小田	1984	Capital Artists	『哥哥的前半生 張國榮入門 30首』 (1996)
3	MONICA	張國榮	黎彼得	黎小田	1984	Capital Artists	『哥哥的前半生 張國榮入門 30首』 (1996)
4	第一次約會	林憶蓮	向雪懷	鮑比達	1985	SONY MUSIC Entertainment Hong Kong	『憶蓮2000精選』 (2000)
5	胡思亂想	陳慧嫻	潘源良	趙增熹	1992	ポリドール・レコード	『Asian Wave バラード・ヒット・カヴァース』 (1994)
6	情人知己	葉倩文	潘源良	鮑比達	1992	Warner Music Hong Kong	『紅塵』 (1992)
7	若你真愛我	王菲	潘源良	C. Y. Kong	1993	Cinopoly Records	『十萬個為什麼?』 (1993)
8	懲罰你	黎姿	林夕	盧東尼	1994	Warner Music Hong Kong	『不是娃娃』 (1994)
9	只要你愛我	鄭中基	甄健強	Gary Chan	2005	Gold Typhoon	『Before After 無賴』 (2005)
10	原諒我要高飛	陳柏宇	陳詠謙	謝浩文	2010	SONY MUSIC Entertainment Hong Kong	『Put On』 (2010)

オリジナル曲

No.	曲名	歌手	作詞	作曲	年	レーベル
1	ラヴ・イズ・オーヴァー	歐陽菲菲	伊藤 薫	伊藤 薫	1979	ポリドール
2	TOKIO	沢田研二	糸井重里	加藤邦彦	1980	ポリドール

3	モニカ	吉川晃司	三浦徳子	NOBODY	1984	SMSレコード
4	時をかける少女	原田知世	松任谷由実	松任谷由実	1983	キャニオン・レコード
5	さらば恋人	堺 正章	北山 修	筒美京平	1971	日本コロムビア
6	男と女	チャゲ&飛鳥	飛鳥 涼	飛鳥 涼	1981	ワーナー・パイオニア
7	悪女	中島みゆき	中島みゆき	中島みゆき	1981	キャニオン・レコード
8	春なのに	柏原芳恵	中島みゆき	中島みゆき	1983	日本フォノグラム
9	彩～Aja～	サザンオールスターズ	桑田佳祐	桑田佳祐	2004	タイシタレーベル
10	YELL	いきものがかり	水野良樹	水野良樹	2009	エピックレコード ジャパン

付記

本稿執筆にあたり、広東語の2つの字の声調についてご教示を賜った飯田真紀准教授（北海道大学）、および、今回も楽譜についてご助言を賜った、もと本学職員でオルガニストの有田知子氏に、感謝申し上げたい。（但し、楽譜に間違いがある場合は、全て筆者の責任に帰する。）